

安全データシート (SDS)

消石灰

整理番号 : SL-11

作成日 2006年4月1日

改訂日 2014年6月1日

1 製品名及び会社情報

製品の名称 : 消石灰 (水酸化カルシウム)

会社名 : 全国農業協同組合連合会

担当部署 : 肥料農薬部

住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F

電話番号 : 03-6271-8285

Fax番号 : 03-5218-2536

電子メールアドレス : zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp

緊急連絡電話番号 : 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害の要約

GHS分類 :

危険・有害性項目		分類結果	シンボル	注意喚起用語	危険有害性情報
2	皮膚腐食性／刺激性	区分2		警告	皮膚刺激
3	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分1		危険	重篤な眼の損傷
8	特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分1(呼吸器系)		危険	呼吸器系の障害
9	特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分2(肺)		警告	長期又は反復暴露による肺の障害のおそれ

3 組成及び成分情報

化学名 : 水酸化カルシウム

一般名 : 消石灰

化学式 : Ca(OH)₂

CAS番号 : 1305-62-0

官報公示整理番号 : 化審法 (1)-181

安衛法 -

4 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

5 火災時の措置

消火剤 : 小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水

大火災：粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、散水

特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して腐食性又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器内に水を入れてはいけない。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消防を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器化学用保護衣を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具

及び緊急時措置 : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

風上に留まる。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和

：漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。

封じ込め及び浄化方法・機材

：危険でなければ漏れを止める。

粉じんの発生、拡散を防ぐ。

二次災害の防止策

：すべての発火源や可燃性物質を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱及び保管上の注意

取扱い : 取り扱う際は保護具（防塵眼鏡、防塵マスク、保護手袋）を着用すること。

保管 : 大気との接触を少なくし、水との接触を避け防湿および防水に留意する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : ACGIH (2006) : TLV-TWA 5mg /m³

設備対策 : 気中濃度を推奨された許容濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具 : 呼吸用保護具（防塵マスク）、目の保護具（安全ゴーグル、顔面シールド等）、保護手袋、保護衣を着用すること。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

当該化学物質の外観 : 無色の結晶又は白色の粉末

臭い : データなし

pH : 12.4 (25°C 飽和水溶液)

融点・凝固点 : 580 °C (分解)

沸点・初留点及び沸騰範囲 : 分解

引火点 : 不燃性

燃焼または爆発範囲 : 不燃性

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

比重 : 2.2

溶解度 : 水に微溶

n - オクタノール / 水分配係数 : データなし

自然発火温度 : 不燃性

分解温度 : 580 °C

10 安定性及び反応性

安定性	: 空気中の炭酸ガスを吸収して炭酸カルシウムを生成する。 加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。
危険有害反応性可能性	: 酸類と反応し発熱する。 強酸化剤と反応する。 水の存在下で、多くの金属を侵し、引火性 / 爆発性のガス（水素）を生成する。
避けるべき条件	: 空気との接触。加熱。
混触危険物質	: 強酸化剤、酸類。 水の存在下で、多くの金属を侵す。
危険有害性のある分解生成物	: 酸化カルシウム

11 有害性情報

急性毒性（経口）	: ラットの LD50 値 7340mg/kg(ACGIH, 2001; HSDB, 2005) に基づき区分外。
急性毒性（経皮）	: データがなく分類できない。
急性毒性（吸入：ガス）	: GHS の定義における固体であり分類対象外。
急性毒性（吸入：蒸気）	: データがなく分類できない。
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: データがなく分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	: 眼および気道を含むすべての身体表面暴露に対し中程度の刺激性を示すとの記述(ACGIH, 7th, 2001) 及びヒト皮膚に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005) から区分 2。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ヒト眼に対して moderate, severe, corrosive な刺激を示すとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; IUCLID, 2000; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005) 及びウサギに対して corrosive な刺激を示すとの記述 (IUCLID, 2000) から区分 1。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性および皮膚感作性ともにデータがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	: データがなく分類できない。
発がん性	: データがなく分類できない。
生殖毒性	: データがなく分類できない。
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述 (ACGIH, 7th, 2001; HSDB, 2005; ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002; HSFS, 2005) から区分 1（呼吸器系）。
標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: Priority 2 においてヒト肺を冒すことがあるとの記述 (ICSC(J), 1997; SITTIG, 4th, 2002) から区分 2（肺）。
吸引性呼吸器有害性	: データがなく分類できない。

12 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	: データがなく分類できない。
水生環境有害性（慢性）	: データがなく分類できない。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

取り扱いおよび保管上についての注意の項の記載による。他、適用法令の定めるところに従う。

国際規制

海上規制情報 : 非該当

航空規制情報 : 非該当

国内規制

陸上規制情報 : 非該当

海上規制情報 : 非該当

航空規制情報 : 非該当

特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

16 その他の情報

参考文献 : 化学便覧 改訂4版（平成5年）

石灰No.443（1992年11月号）

国立医薬品食品衛生研究所「国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版」

国連GHS文書 改訂第5版

厚生労働省「化学物質情報」

独立行政法人製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報システム」

独立行政法人製品評価技術基盤機構「GHS分類結果」

- ・本SDS記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。
- ・注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊なお取扱いの場合はその点ご配慮をお願いいたします。
- ・危険物有害性報告等の評価は必ずしも十分とは言えないので、お取扱いには十分注意して下さい。
- ・本SDSは、下記奥多摩工業株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名 奥多摩工業株式会社
担当部署 石灰営業部 石灰営業課
住所 〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル6F
電話番号 042-540-5571
Fax番号 042-540-5590
電子メールアドレス kmakino@okutama.co.jp
緊急連絡電話番号 042-540-5590